

平成28年度 事業報告書

(自平成28年1月1日 至平成28年12月31日)

一般財団法人日本ボクシングコミッション

1 業務管理について

(1) 経費の削減

年間表彰式、業務委託費等の見直し、各種世界団体総会への参加自粛等により、経費を削減した。

(2) 業務管理の適正化

業務管理の適正化を継続実施した。

(3) 職員の年間業務目標を設定する。

J B C各職員が業務内容表を作成した。

2 試合運営管理に関して

(1) 平成 27 年 12 月 22 日開催の理事会にて J B C ルールブックの改正が承認され、平成 28 年 1 月 1 日より施行した。

(2) 世界(男子 22/女子 12)、東洋太平洋(男子 28/女子 6)、日本(34)のタイトルマッチ試合を含め、209 興行の試合管理を行った。

●興行数

地区	2016	2015	比較
東京	109	112	-3
中部	19	18	1
関西	55	60	-5
西部	26	21	5
合計	209	211	-2

●世界戦興行数

	2016	2015	比較
男子	12	12	0
女子	8	10	-2
合計	20	22	-2

(3) 選手、マネージャー、他ボクシング従事者に対する資格審査並びにライセンスを発給した。ライセンスの発行数は、4,279 名

(内：外国人ボクサー259名、前年は195名)

●内訳

種別	2016	2015	差
ボクサー	2,306	2,271	35
男子	2,167	2,158	9
女子	139	113	26
プロモーター	74	74	0
クラブオーナー	278	273	5
マネージャー	407	406	1
トレーナー	590	582	8
セコンド	383	388	-5

マッチメーカー	2	2	0
レフェリー	128	114	14
タイムキーパー	13	13	0
アナウンサー	10	9	1
ドクター	83	91	-8
進行	5	5	0
合計	4,279	4,228	51

●ボクサーライセンス取得者（）内は女子ボクサー

	2016	2015	差
A級	683(44)	659(41)	24
B級	259(16)	222(10)	37
C級	1364(79)	1390(65)	-26
合計	2306(139)	2271(116)	35

(4) プロボクサー新人テスト実施をした。

●受験者数

地区	2016	2015	差
東京	362	315	47
中部	35	55	-20
関西	138	172	-34
西部	67	78	-11
合計	620	635	-15

(5) 日本ランキングを決定し発表した。

ランキング委員会を開催した。(月例)

●メンバーは、専門誌記者、一般紙・スポーツ紙記者、ボクシングアナリスト、JPBA、JBC

(6) 試合役員研修会を実施した。

各地区の状況は、東京地区9回、中部地区1回、関西地区2回、西部地区1回であった。内容は、採点基準、レフェリング(反則処置)、事故防止等であった。

3 安全防護に関して

(1) JBC・JPBA合同医事講習会を開催した。

(平成28年9月21日、後楽園ホール5F展示会場)

①講師

野中雄一郎医師 東京慈恵会医科大学附属病院脳神経外科診療部長
『ボクシングにおける急性硬膜下血腫について』

②参加者

107名

③内容

リング事故の大半を占める「急性硬膜下血腫」の仕組みが、他の脳内出血の症例と比較し、画像や統計を交えながらわかりやすく丁寧に講義された。

(2) リング事故（急性硬膜下血腫受傷）

- ①横山拓成（フラッシュ赤羽）が4月12日後楽園ホールにおいて、中根一斗（レイスポーツ）との6回戦で6回2分52秒TKO負け後、急性硬膜下血腫にて緊急入院し、開頭手術を行った。
- ②島倉裕矢（岐阜ヨコゼキ）が7月12日後楽園ホールにおいて、正木侑也（帝拳）との8回戦で判定負け後、急性硬膜下血腫にて緊急入院し、開頭手術を行った。

3 国際交流について

(1) OPBF（東洋太平洋ボクシング連盟）第54回年次総会への参加

①日時、場所

平成28年3月31日～4月2日、フィリピン

②内容

- 各種報告
- フリーディスカッション

④参加者

松原暢宏、福地勇治、土屋末広

(2) WBC（世界ボクシング評議会）第54回年次総会

①日時、場所

平成28年12月12日～12月16日、アメリカ・フロリダ州ハリウッド

②内容

- リングオフィシャルセミナー
- 各地域総会
- ランキング委員会
- 指名挑戦者確認

③参加者

安河内剛

4 2015年度年間優秀選手表彰式を開催し、ボクシング功労者を表彰した。

(1) 日時

平成28年2月12日

(2) 場所

東京ドームホテル

(3) 表彰選考会

平成28年1月22日実施

(4) 表彰選手

- ①プロの部9部門（13名）
- ②功労者（1名）

(5) 各種チャンピオンの引退

- 元 WBC 世界ライト・フライ級チャンピオン 木村悠 (帝拳)
- 元 WBC 世界スーパー・バンタム級チャンピオン 長谷川穂積 (真正)
- 元 WBO 女子世界ミニ・フライ級チャンピオン 池原シーサー久美子 (フューチャー)
- 元 WBC 女子世界ミニ・フライ級チャンピオン 安藤麻里 (フューチャー)
- 元 OPBF&日本ミドル級チャンピオン 柴田明雄 (ワタナベ)
- 元日本スーパー・ライト級チャンピオン 岩渕真也 (草加有沢)
- 元 OPBF 東洋太平洋スーパー・ミドル級チャンピオン 清田祐三 (フラッシュ赤羽)
- 元 OPBF 東洋太平洋スーパー・フェザー級チャンピオン 仲村正男 (渥美)
- 元日本スーパー・バンタム級チャンピオン 芹江匡晋 (伴流)
- 元日本ライト級チャンピオン 徳永幸大 (ウオズ)

(6) 世界王者獲得

- WBO 世界ミニマム級チャンピオン 高山勝成 (仲里)
- WBC 世界スーパー・バンタム級チャンピオン 長谷川穂積 (真正)
- WBA 世界ライト級チャンピオン ホルヘ・リナレス (帝拳)
(リナレスはWBC 世界ライト級と併せての統一王者)
- WBO 世界ライト・フライ級チャンピオン 田中恒成 (畑中)
- IBF 世界スーパー・バンタム級チャンピオン 小國以載 (角海老宝石)
- WBA 女子世界ライト・ミニマム級チャンピオン 古川夢乃歌 (ワタナベ)
- WBO 女子世界フライ級チャンピオン 好川菜々 (堺東ミツキ)

5 広報普及活動について

- (1) ボクシング広報誌を発刊した。

毎月発刊

- (2) ボクシング年鑑を発刊した。

平成 28 年 4 月 1 日

- (3) ホームページの活用

最新情報を掲載した。

- (4) U-15 ボクシング全国大会の開催に協力した。

①日時

平成 28 年 9 月 11 日

②場所

東京・後樂園ホール

③参加者

107 名

6 記録、資料について

選手記録 (戦績、診断の記録カード)、ボクシングに関する資料の収集、作成並びに

保存を継続的に行った。また選手の健康カード刷新し、様式を変更した。

7. その他

(1) 物故者

平成 28 年度にご逝去されたボクシング関係者は 6 名であった。

- 金子繁治氏（前金子ジム会長）1 月 2 日ご逝去（84 歳）
- 原田勝弘（元日本バンタム級・フェザー級王者牛若丸原田）6 月 15 日ご逝去（68 歳）
- 川上林成（元東洋 J・ミドル級王者）6 月 30 日ご逝去（76 歳）
- 川島利彦（ヨネクラジムトレーナー）7 月 21 日ご逝去（74 歳）
- 酒井忠康（リングアナウンサー）10 月 2 日ご逝去（85 歳）
- 濱伸二（タイムキーパー）12 月 16 日ご逝去（72 歳）

(2) 処分関係

平成 28 年度は、5 案件 8 人を処分した。内容は以下の通りである。

①京口竜人（大阪帝拳：ボクサー）の件

平成 27 年 8 月 16 日、貝塚公園にて男性グループと口論になり、殴るなど暴行を加え、傷害の疑いで逮捕され、罰金刑に処された。

- 京口竜人を平成 27 年 11 月 20 日よりライセンス 1 年停止処分。
- 吉井寛（大阪帝拳：クラブオーナー・プロモーター）を厳重注意処分。
理由－クラブオーナーとしての管理監督責任。

（平成 28 年 2 月 5 日付）

②桃井悟（トヤマ：プロモーター）の件

平成 27 年 9 月 6 日の高岡テクノドームでのメインイベントに出場したパナマ人ボクサーの興行ビザ取得に不備があったことは、在パナマ日本国大使館側の錯誤であることが判明し、大使館側から改めて就労ビザの発給と謝罪文が届いたため。

- 桃井悟の厳重注意処分の取り消し。

（平成 28 年 2 月 5 日付）

③坂本基歳（井岡：マネージャー）の件

平成 28 年 1 月 22 日に自身のマネジメント契約下にある日本スーパー・フライ級チャンピオン石田匠選手の指名試合期限が到来することを知り、タイトル返上の確約書を提出した。しかし平成 27 年 12 月 31 日、同級 5 位の大塚隆太（18 鴻巣）選手と防衛戦を行い、急遽翻意しタイトルを返上せず、JBC ルール第 62 条 3 項に違反した。

- 坂本基歳を厳重注意処分。

（平成 28 年 2 月 26 日付）

④市村蓮司（RK 蒲田：ボクサー）の件

平成 28 年 3 月 13 日の試合前日計量において 1.6kg 体重超過し計量失格となった。

- 市村蓮司を厳重注意処分。
- 柳光和博（RK 蒲田：クラブオーナー）を厳重注意処分。

理由一クラブオーナーとしての管理監督責任。

(平成 28 年 3 月 15 日付)

⑤太田領 (ダッシュ東保: ボクサー) の件

平成 28 年 7 月 20 日の前日計量において定刻に遅れた上 6.9kg 体重超過し、終始悪態をつき計量失格となった。また東保会長の事前の確認連絡にも平然と虚偽の報告をしていることから、当初から契約体重に調整する意思のない悪質なオーバーウエイトといえる。

●太田領を平成 28 年 7 月 19 日より無期限停止処分

●東保佳秀 (ダッシュ東保: クラブオーナー) を戒告処分

理由一クラブオーナーとしての管理監督責任。

(平成 28 年 9 月 6 日付)

⑥佐藤矩彰 (新日本木村: ボクサー) の件

平成 28 年 10 月 22 日の試合前日計量において 2.0kg 体重超過し計量失格となった。

●佐藤矩彰を嚴重注意処分。

●木村七郎 (新日本木村: クラブオーナー) を嚴重注意処分

理由一クラブオーナーとしての管理監督責任。

(平成 28 年 10 月 25 日付)

(3) 理事会、評議委員会の開催

①理事会

平成 28 年 2 月 23 日

平成 28 年 8 月 23 日

平成 28 年 12 月 20 日

①評議員会

平成 28 年 2 月 23 日

以上